

令和4年度 予算施策評価表

様式1

施策名	幹線道路網の整備				予算施策コード	db10	
担当部局名	土木部	道路都市局	道路建設課	評価責任者	課長 曾我部 知正	連絡先	4411

1 施策の内容

施策の目標	<p>県管理道路のうち、市町村合併に伴い、新たな地域間交流に不可欠な幹線道路ネットワークを整備することにより、県民の日常生活における安全性・利便性の向上や快適な生活環境を確保する。</p>
-------	--

これまでの取り組み	<p>全国平均の道路改良率が85%(H31.4.1)を越える中、本県の国道、県道の改良率は、令和3年4月現在で75.7%と、本県の道路の整備状況は、全国に比べて非常に遅れている。平成15年12月に策定した「愛媛道ビジョン」に基づき重要路線を選定し、緊急輸送道路、市町村合併支援道路について重点化を図り整備を行ってきたところであるが、策定後、10年以上が経過したことに加え、東日本大震災や中央道笹子トンネル事故の発生などにより、大規模災害への備えや老朽化対策が喫緊の課題となるなど、大きな社会情勢の変化があり、新たな課題への対応が求められていることから、平成28年2月に「愛媛道ビジョン」の改訂を行ったところである。</p> <p>新たな道ビジョンでは、3つの推進姿勢を掲げ、今後の道路整備を推進することとしている。「重点化」については、緊急輸送道路などの「防災・減災関連道路」、役場や学校等の集落中心地を結ぶ道路などの「生活圏ネットワーク道路」、地域の活性化などを支援する道路の「産業活性化・地域づくり支援関連道路」に見直した。「効率化」については、「1.5車線の整備」を引き続き積極的に適用するほか、道路を賢く「つかう」という観点から、既設の道路空間を有効活用し、機能を高めていくこととしている。また、「連携・協働」では、地域住民や関係団体などの連携や協働により、道路の維持管理や、国、県、市町及び地元関係者が一緒になって、地域特性に応じた「地域別計画」を作成し、道路整備を積極的に進めることとしている。</p>
-----------	---

成果指標名(目標の達成度合いを示す指標)

A	最適最小ネットワーク形成率				B	合併市町内の役場・支所間連絡率					
選択理由	県下の重要路線(最適最小ネットワーク)を整備するに当たり、県内の均衡ある整備の有無を判断する指標として、本指標を採用した。				選択理由	県下の合併支援道路を整備するに当たり、整備水準を判断する指標として、本指標を採用した。					
算定方法	道路構造令の規定に適合するよう改築(5.5m未満を含む)された道路延長/道路実延長の割合で表示。				算定方法	合併後の市町役場と各支所を連絡する幹線道路区間数を分母として、改良率が100%となった区間数を分子とした割合で表示。					
成果と指標の関係	強	指標の種類(ストック/フロー)	ストック	指標の種類(プラス/マイナス)	+	成果と指標の関係	強	指標の種類(ストック/フロー)	ストック	指標の種類(プラス/マイナス)	+

指標・事業費・人件費の推移												
区分	成果指標A			成果指標B			事業費(予算)				事業費(決算)	人件費
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	予算計	国費	その他	県費		
単位	%		%	%		%	千円					
2年度	84	83	98.8%	83	82	98.8%	14,100,990	4,892,861	147,559	9,060,570	14,097,201	378,898
3年度	84	83	98.8%	83	82	98.8%	16,886,858	6,696,953	94,228	10,095,677	16,791,709	487,025
4年度	84	83	98.8%	83	82	98.8%	12,587,060	3,507,280	48,225	9,031,555	12,399,706	379,760

2 施策の評価

県の関与の必要性		説明	幹線道路は、地域の社会経済を支える根幹的な基盤施設であり、産業振興・地域の活性化に重要な役割を担うとともに、住民の安全・安心の暮らしに欠くことのできない救急医療や災害時における緊急輸送機能など、多様な効果をもたらすものであり、県が積極的に関与し県下の均衡ある整備を図る必要がある。						
高い									
成果指標A		説明	道路整備の方針を示す「愛媛道ビジョン」を平成15年に策定し、重点化・効率化をキーワードに、道路整備を進め、特に重点化では、重要路線を選定し、集中的に整備を行ってきた。しかしながら、社会情勢の変化を踏まえ、平成28年2月に新たな道ビジョンを策定し、重要路線を見直した結果、重要路線に限定すれば、令和4年4月現在、改良率が83.1%となっており、国・県道の改良率75.9%を大きく上回っているほか、全国の整備水準と同等程度となっているところである。 また、厳しい財政状況の中ではあるが、さらなる事業の重点化、効率化を進めることで、ある程度の向上は可能であると考えられる。						
成果動向	順調・向上								
成果向上余地	成果向上が可能								
成果指標B		説明	事業の進め方である「愛媛道ビジョン」を平成15年に策定、28年に改訂し、重点化・効率化を図り、重要路線の整備を集中的に行ってきたところであり、成果は順調に向上していると考えられる。 厳しい財政状況の中、令和4年4月現在の合併市町内の役場・支所間連絡率の指標は81.8%である。						
成果動向	順調・向上								
成果向上余地	成果向上が可能								
参考：構成事務事業の評価の平均値		成果動向	2.33	順調・向上		成果向上余地	1.67	成果向上が可能	

4-1 事務事業管理シート（評価対象事業）

予算施策名

db10

幹線道路網の整備

1 道路改築事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり												
指標種類1	指標名称1			計画	83	83	83			コスト (単位：千円)	事業費計	4,293,994	6,391,438	6,549,960	8,346,389	評価	早期効果が発現可能な箇所へ予算を重点配分することにより、一定の成果向上の余地がある。													
成果 +	ストック	合併市町内の役場・支所間連絡率	%	実績	82	82	82				国費	2,164,626	3,364,412	3,472,432	4,530,057															
				達成率	98.80%	98.80%	98.80%				その他																			
				県費	2,129,368	3,027,026	3,077,528				3,816,332																			
指標種類2	指標名称2			計画	99	99	99					コスト (単位：千円)	事業費計	4,290,601	6,391,438					6,549,960	評価	早期効果が発現可能な箇所へ予算を重点配分することにより、一定の成果向上の余地がある。								
成果 +	ストック	生活圏域内30分アクセス達成率	%	実績	99	99	99						国費	2,163,748	3,364,412					3,472,432										
				達成率	100.00%	100.00%	100.00%						その他																	
				県費	2,126,853	3,027,026	3,077,528						3,816,332																	
指標種類3	指標名称3			計画	80	74	57							コスト (単位：千円)	事業費計					4,290,601					6,391,438	6,549,960	評価	早期効果が発現可能な箇所へ予算を重点配分することにより、一定の成果向上の余地がある。		
活動 +	フロー	事業箇所数	箇所	実績	82	68	74								国費					2,163,748					3,364,412	3,472,432				
				達成率	102.50%	91.89%	129.82%	その他																						
				県費	2,126,853	3,027,026	3,077,528	3,816,332																						
実施 期間	始期	終期	事業の概要						人役	51.5					76	62.2	見直し 方向性	方向1	このまま継続											
	H7		交通の安全確保と円滑化、また、地域住民の安全性や利便性の向上及び経済基盤の強化等を図るため、社会資本整備総合交付金制度等を活用し、道路整備(国道・県道)を行うもの。							人件費					348,449	459,800			371,397	方向2										
2 道路受託事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度			R4年度	R5年度	成果 動向	4成果順調である	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり										
指標種類1	指標名称1			計画	2	1	1			コスト (単位：千円)	事業費計	147,559			64,678	48,225	57,650	評価	県が行う道路事業と、関連する市町事業を県が受託し一体的に施工することにより、事業の効率化や経済性において有効であり、一定の成果向上が見込まれる。											
成果 +	フロー	工期短縮、事業費縮減が図られた箇所数	箇所	実績	2	1	1				国費																			
				達成率	100.00%	100.00%	100.00%				その他	147,559			64,678	48,225	57,650													
				県費																										
指標種類2	指標名称2			計画	2	1	1					コスト (単位：千円)	事業費計	147,559	64,678	48,225	評価					県が行う道路事業と、関連する市町事業を県が受託し一体的に施工することにより、事業の効率化や経済性において有効であり、一定の成果向上が見込まれる。								
活動 +	フロー	事業箇所数	箇所	実績	2	1	1						国費																	
				達成率	100.00%	100.00%	100.00%						その他	147,559	64,678	48,225									57,650					
				県費																										
指標種類3	指標名称3			計画										コスト (単位：千円)	事業費計	147,559									64,678	48,225	評価	県が行う道路事業と、関連する市町事業を県が受託し一体的に施工することにより、事業の効率化や経済性において有効であり、一定の成果向上が見込まれる。		
活動 +	フロー	事業箇所数	箇所	実績											国費															
				達成率	-	-	-	その他	147,559	64,678					48,225	57,650														
				県費																										
実施 期間	始期	終期	事業の概要						人役	0.8					0.8	0.5		見直し 方向性	方向1	このまま継続										
			道路工事に起因して必要となる市町その他公共的団体の改築工事等(当該工事に関連する調査、測量、設計、試験及び検査を含む。)について、市町その他公共的団体からの委託に基づき、県が道路工事と併せて施工するもの。							人件費					5,413	4,840				2,986	方向2									
3 直轄道路事業費負担金				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度			R4年度	R5年度	成果 動向	4成果順調である	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり										
指標種類1	指標名称1			計画	5	5	5			コスト (単位：千円)	事業費計	5,421,570			5,315,101	5,767,043	3,823,871	評価	早期効果が発現可能な箇所へ予算を重点配分することにより、一定の成果向上の余地がある。											
成果 -	ストック	通行規制区間率	%	実績	5	5	5				国費																			
				達成率	100.00%	100.00%	100.00%				その他																			
				県費	5,421,570	5,315,101	5,767,043				3,823,871																			
指標種類2	指標名称2			計画								コスト (単位：千円)	事業費計	5,421,570	5,315,101	5,767,043	評価					早期効果が発現可能な箇所へ予算を重点配分することにより、一定の成果向上の余地がある。								
活動 +	ストック	通行規制区間率	%	実績									国費																	
				達成率	-	-	-						その他																	
				県費	5,421,570	5,315,101	5,767,043						3,823,871																	
指標種類3	指標名称3			計画										コスト (単位：千円)	事業費計	5,421,570									5,315,101	5,767,043	評価	早期効果が発現可能な箇所へ予算を重点配分することにより、一定の成果向上の余地がある。		
活動 +	ストック	通行規制区間率	%	実績											国費															
				達成率	-	-	-	その他																						
				県費	5,421,570	5,315,101	5,767,043	3,823,871																						
実施 期間	始期	終期	事業の概要						人役	0.1					0.1	0.1		見直し 方向性	方向1	このまま継続										
			道路事業に係る直轄負担金							人件費					677	605				598	方向2									

4 上島架橋整備関連事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	1成果向上余地为 <small>小</small> さい								
指標種類1	指標名称1			単位	計画	-	-	2	/	予算	事業費計	0	0	220,000	187,000	評価										
成果 +	スタッ	一般旅客定期航路の事業縮小等に伴う航路事業者への支援率	%	実績	-	-	1	国費												見直し方向性	方向1 このまま継続 方向2 方向3					
				達成率	-	-	50.00%	その他																		
				計画				県費					220,000	187,000												
指標種類2	指標名称2			単位	計画			決算			事業費計	0	0	32,634												
				実績							国費															
				達成率	-	-	-			その他																
				計画						県費			32,634													
指標種類3	指標名称3			単位	計画					人役				0.5												
				実績							人件費				2,986											
				達成率	-	-	-																			
				計画																						
実施期間	始期	終期	事業の概要																							
	R4	R5	岩城橋供用の影響で事業縮小等を行う航路事業者に対して交付金による支援を行うもの。																							

5 ゆめしま海道3橋PR事業費(東予)				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	5成果向上している	向上 余地	2一定の成果向上余地あり								
指標種類1	指標名称1			単位	計画	-	-	194000	/	予算	事業費計	0	0	1,000	1,000	評価	5成果向上している 向上余地 2一定の成果向上余地あり									
成果 +	フロ-	上島町の入込観光客数	人	実績	-	-	153483	国費												見直し方向性	方向1 このまま継続 方向2 方向3					
				達成率	-	-	79.11%	その他																		
				計画				県費					1,000	1,000												
指標種類2	指標名称2			単位	計画			決算			事業費計	0	0	1,000												
				実績							国費															
				達成率	-	-	-			その他																
				計画						県費			1,000													
指標種類3	指標名称3			単位	計画					人役				0.1												
				実績							人件費				598											
				達成率	-	-	-																			
				計画																						
実施期間	始期	終期	事業の概要																							
	R4		ゆめしま海道3橋の魅力を経営的に県内外に発信し社会資本整備の重要性をPRするとともに、3橋の観光資源としての地位を確立し、上島町への交流人口の拡大を促進するもの。																							

6 道路橋りょう調査費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	1成果向上余地为 <small>小</small> さい									
指標種類1	指標名称1			単位	計画	1	1	1	/	予算	事業費計	711	711	832	807	評価	3成果横ばい 向上余地 1成果向上余地为 <small>小</small> さい										
成果 0	フロ-	地震観測データの成果	箇所	実績	1	1	1	国費												見直し方向性	方向1 このまま継続 方向2 方向3						
				達成率	-	-	-	その他																			
				計画				県費			711	711	832	807													
指標種類2	指標名称2			単位	計画	1	1	1			決算	事業費計	711	711	814												
活動 0	フロ-	調査箇所数	箇所	実績	1	1	1	国費																	見直し方向性	方向1 このまま継続 方向2 方向3	
				達成率	-	-	-	その他																			
				計画				県費		711		711	814														
指標種類3	指標名称3			単位	計画			人役				0.2	0.2	0.2													
				実績						人件費			1,354	1,210	1,195												
				達成率	-	-	-																				
				計画																							
実施期間	始期	終期	事業の概要																								
	H7		豊後伊予連絡道路の自然条件調査(地震観測)を実施するもの。																								

4-2 事務事業管理シート（評価対象外事業）

予算施策名

db10

幹線道路網の整備

1 補助率差額（道路橋りょう新設改良費）	コスト （単位：千円）						コスト （単位：千円）		
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R2年度		R3年度	R4年度	
評価対象外の理由	事業費計	0	0	0	0	事業費計	0	0	0
後進地域補助率差額	国費	63,063	72,882	34,848	41,404	国費			
評価対象外その他の理由（記述）	その他					その他			
	県費	-63,063	-72,882	-34,848	-41,404	県費			
						人役			
						人件費			